
類似を痛めつける小説

小河健太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

類似を痛めつける小説

【Nコード】

N8325V

【作者名】

小河健太

【あらすじ】

タイトルどおりです。ルイージが好きな人は絶対に読まないでください。

1話

どこかの倉庫

類似「うゝ・・・寒いよどこだよ」

小河「起きたか」

類似「てめえ！何がしたいんだ！？」」

小河「早速作者権限発動。ねじれろ」

類似「うわっ！ギャアアアアアアアアアアア！！！！！！」

徐々に類似の体がねじれていく。

類似「ウワアアアアアア！！！！！！！！！シンジ舞うだろ！」

のび「何でシンジが舞うんだよ、エヴァのシンジか？」

類似「ちがーう！死んじまうだろ！」

静香「おうおう、さっさと死んじまえよ」

類似「酷いよ！」

そして・・・

パンツ！！！！！！！！！！

類似の体が弾け飛び、あたりに肉や血が散らばった。

小河「おうおう、グロイねえ」(笑)

のび「死んだなあ〜こりや（笑）」

静香「これどうする、生き返らせるか？」

小河「そりゃあもちろん！ここにAK-47とか、SAAとか、RPG-7とかあるよ」

静香「俺はRPG-7だ！」

小河「俺AK-47ね」

「必然的にSAAか……」

そして・・・

ババババババババババババババババ！！！！！！！！！！

!!!!

類似「ギャアアアアアアアアアア！！！！！！！！！！！！！！」

類いの拷問は12時間続いた・・・

2話

どこかの倉庫

類似「ヒー！！！！！！！！！！」

小河「さて……今日はどうしてやるか」

ドラ「爪を剥がすってのはどう？」

「のびいいね！」

静香「やりましたよー！」

類似「ふざけるな！おい！」

小河「うるせえ！固まれ！」

類似「いびちや」!

類似は固まった。

小河「チャラリタツタター、釘とヘラッ」

のび「と、いうわけで、おらよ！」

[illegible]

類似の右手の人差し指におもいつきり釘を刺した！

もちろん、血が吹きだす。

!!!!
リ>リ>リ>

類似「ウギャアアアアアアアアアアア！！！！！！！！！！」

静香「ウフフフフフフ、楽しいわね」

小河「もつとやねー、もつとやねー」

ベリバリベリバリ!!!!!!!!!!!!!!

類似「だ、誰か、俺を殺してくれ……」

全員「やーだよ！　そしたら楽しくないし……」

類似「この鬼畜外道！お前ら人間じゃねえ！……ってか、人外が一人いた」

プ
チ
ッ
！

全員「誰が鬼畜外道じゃええええええええええ」

小河「殺したらあ！」

グチャチャチャチャチャチャチャチャ！！！！！！！！！！

類似「うわああああつああ！！！！！！！！！！！！！！」

類目の目をえぐりだした！

のび「うひひひひ、楽しいなあ」

ドラ「愉快愉快」

[illegible]

類似「……死にたい……」

次回へ続く！

類似「続くなあ あつ ああ ああ
！」

3 話

またまたどこかの倉庫

小河「ほいほいほい
w w w w」

類似「うぎょええええええええええ！！！！！！！！！！！」

なにをやっているかとうい、類似に重油をかけているところであつた。

類似「やめて・・・」

バキューン！バキューン！！！！！！！！！！

類似「ぎゃがががが！！！！！！！！」

「のびでも何も見えないさwww」

どうやらのび太が類似の目を銃で打ち抜いたようだ。

つてか笑いながらいうことじゃねえだろ!!!!!!!!

類似「誰かHELP ME!!!!!!」

静香「類似！おまえなんか

（は放送禁止用語）

グロテスクでんがな。

小河「ナレーションの口調もおかしくなった」

類似「だれか・・・助けて・・・」

??? 「そこまでだ！」

類似以外「だ、誰だ！」

ドラ「も、もしや！あの赤い帽子は！」

マリ「はっはっは！正義の味方マリオ様だ！」

類似「兄さん！」

マリ「ルイージ！助けに来たぞ！」

ジャ「そうはいくか！~~~~~」

のび「ギャ嗚呼ああああ、ジャイアンの歌が発動朱太！」

小河「屋びや位、頭がおきや市gy」

マリ「耳栓持ってよかった！」

ジャ「ナニイイ！！！！！！！！！」

ドラ「しゅまっちゃ、類似ににぎやられる！」

ジャ「そうはいくかああっああ！！！！！！」

バキューン！！！！！！！！！！

ジャ「ギャああああ！！！！！！！！」

なーんとなんと、マリオがジャイアンを撃つたのだ！

のび「ジャイアソ！！！」

マリ「ルイージ！コレでダウ丈夫だ！」

類似「兄さん！ありがとう・・・」

そして、マリオは類似を抱えてどこかへと走り去った。

この言葉を残して・・・

マリ「この倉庫、後30秒で爆発だから！」

全員「なにい いい いい いい いい いい いい いい いい いい
い!!!!!!!!!」

そして、**叫び続けて30秒**

ドガン!!!!!!!!!!!!!!

倉庫が大爆発を起こし、類似虐待犯どもは爆死した。（小河は作者権限で現実へ避難済み。そして、キーボードを打っている）

富士の樹海周辺

類似「……兄さん。お願いがあるんだ」

マリ「どっした、
レイジー」

類似「富士の樹海に近いからさ、僕をそこにある木に吊るしても
 えないかな」

「マリ、何を言っているんだ！」

類似「お願い、兄さん」

「マリア・リッパ」

マリオは1分ほど考えた。

マリ「よし、その願い、叶えてやろう」

類似「頼むよ．．．」

富士の樹海
内部

類似「……兄さん。今までありがとう……」

そうして、その5秒後、類似は散々な人生の幕を閉じた。

マリ「ルイージ・・・ あっちでは楽しくやれよ・・・」

完

3 話（後書き）

・・・終わりです。

長らく更新放置もあつて、文章はめちゃくちゃだと思いますが・

・
まあ、いいでしょう。

前話を書く前に読みましたが、これをどうやったら続けられるのか？と、疑問に思い、考えた結果がコレでした。

なんともいいようがありませんね。

バッドエンドなんだかハッピーエンドなんだか・・・

まあ、それに関しては読者の皆さんの考えに任せます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8325v/>

類似を痛めつける小説

2011年11月27日15時51分発行